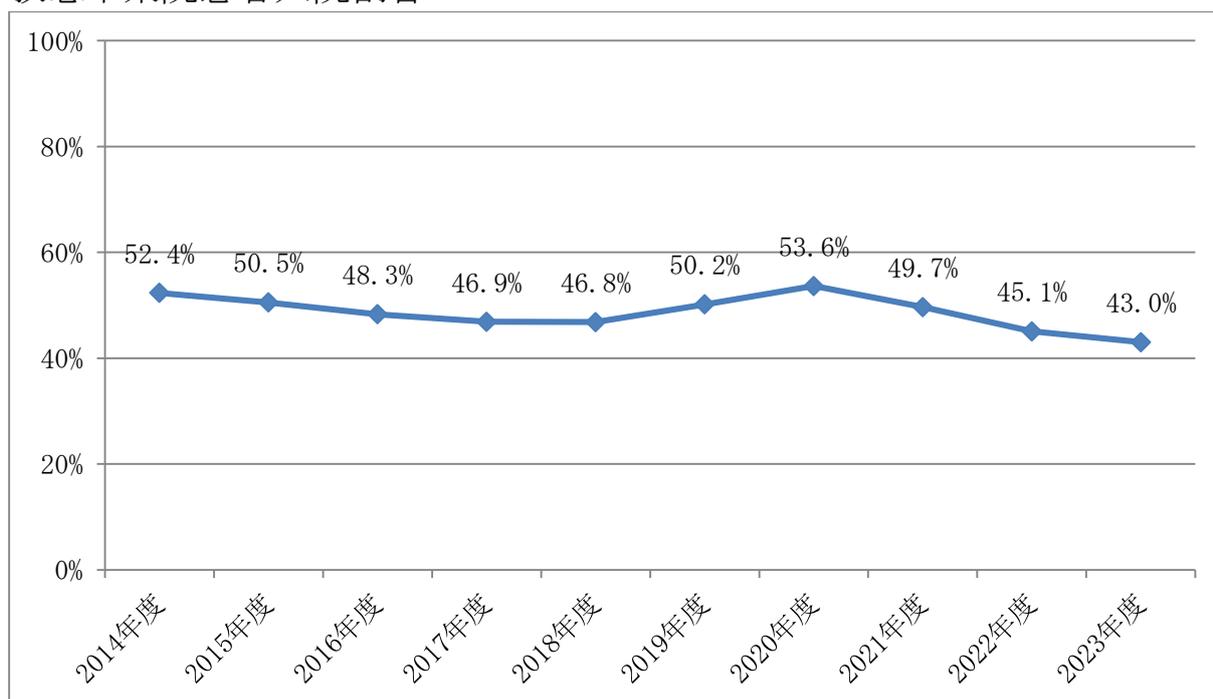


## 救急車来院患者入院割合



救急外来を受診する患者は、比較的重症な救急車来院される患者と軽症な walk in で来院される患者に分かれる。2012 年度以降は上昇傾向にあり、2014 年度の 52.4% をピークに年々低下していたが、2020 年度は 53.6% と前年と比較し増加した。その後、救急車来院患者入院割合は減少したものの、救急車搬送患者数は増加している。

当院は、24 時間体制で 1 次救急から 3 次救急までの全ての救急患者を受け入れており、救急隊からの要請を断らない体制により、帰宅可能な軽症患者も受け入れていることから全てが重症患者とはならない。

今後は、更なる救急隊との連携強化と 3 次救急の重症患者受け入れを推進する必要がある。

データ提供 医療事務室救命管理課